

令和7年3月12日

第14回宮津まちなみシンポジウム「災害とまちなみを考える」を開催します

～災害によるまちなみの変貌と復興～

近年多発する自然災害の中で、災害に強い街づくりを目指して復興が進められています。しかし、まちなみの変化の中で、地域に根差した文化や暮らしの記憶をいかに留めるか課題も残されています。今回のシンポジウムでは、能登半島地震からの復興に取り組む能登の現状を通じて、災害によるまちなみの変貌や復興のあり方について考える機会とします。

日 時

・3月20日（木・祝） 14時から17時20分（13時30分 受付開始）

場 所

- ・重要文化財旧三上家住宅 酒造蔵（宮津市字河原 1850）
- ・参加無料（申し込み不要）

内 容

市民講演会「能登半島地震被災地の現状と復興」

講 師：大門大朗 氏（福知山公立大学地域経営学部 准教授）

被災地からの報告「能登のはなし」

報告者：黒澤卓夫 氏、恵三子 氏（かぞく舎館 代表）

技術者からの報告「古い木造住宅は地震に弱いのか？」

報告者：老朧優二 氏（キノアルー級建築士事務所 代表）

パネルディスカッション「災害に対する町の記憶保全」

コーディネーター：河森一浩（宮津市教育委員会）

パネリスト：風月匠幹廣氏（株式会社風・住・研代表）、黒澤卓夫 氏、老朧優二 氏

その他

- ・主催：NPO 法人天橋作事組、後援：（一社）京都府建築士会宮津支部
- ・問い合わせ先：NPO 法人天橋作事組：
TEL:050-3649-7655 MAIL:tenkyo.sakujigumi@gmail.com
- ・お車でお越しの方はパーキングはままち（市営立体駐車場）をご利用ください

【担当者のコメント】

能登の復興の現状を通じて、暮らしと文化が根付くまちなみを守りながら、災害に強いまちをどのように作っていくのか、皆さんで考え合う機会としたいと思います。

お問い合わせ先

教育委員会事務局 / 社会教育課 / 社会教育係（文化財保護担当）
TEL：0772-45-1642